

ハンドボールを中心としたゴール型授業に関する研究



Keyword:

ハンドボール、ゴール型ゲーム、投動作、教材化



創造科学系
保健体育講座 准教授

研究分野: コーチング学、体育科教育学

山下 純平 (YAMASHITA Junpei)

Email: yjunpei@aecc.aichi-edu.ac.jp



研究概要

私は2つの研究課題を通してゴール型授業の研究を進めています。

1つ目は、小学校体育科での**ハンドボール競技の教材化**です。平成29年改訂の学習指導要領は、Society5.0の時代にふさわしい授業改善について定めています。そこからは、体育科と日々のスポーツライフを繋ぐことを企図した学習モデルを新たに構築する必要があると考えられます。

時代に合った教育を実践していくためにふさわしい**教材を開発**することを目指しています。

2つ目は、ゴール型授業における**投技能の新しい評価基準**及び**学習プログラム**を作成することです。ゴール型授業におけるボールを投げる動作(投動作)は、相手が存在しているため陸上領域の投擲種目の投動作とは異なることが考えられます。そこで、まずはゴール型における投技能の技術構造の解明を行います。次に得られた知見をもとに、学習プログラムを作成し、実践研究で効果を明らかにします。その後、教師及び児童・生徒が活用しやすいデジタル教材を作成し、授業研究で効果を検証します。デジタル教材は、主体的な学びや効果的な**ICT教育の実現**に欠かせないものであり、**次世代型教育**への根拠のある提言を目指しています。

以上の課題について地域の学校の先生方と協働しながら研究を進めています。

アピールポイント

私は**現場での実践**を大切にしています。子どもたち、先生方の生の声を聞くことで、誰でも実践でき、誰でも学びを実感することができる教材を開発しています。これまでに開発してきたハンドボールの教材は、現場で多くの実践を行わせていただきながら改善してきました。その実践では、多くの子どもたちの笑顔や気づきを見取ることができました。実践していただいた先生方からは、準備、片づけを含めて**授業の行いやすさ**、**学習のしやすさ**を評価していただいております。今後は、令和の教育にふさわしい形へと改善していきたいと考えております。ハンドボールの教材は**小学校3年生から6年生**まで実施できる教材です。他には**低学年用**のボールゲームの教材もございます。ぜひご連絡いただき、ご活用いただけると幸いです。

お問合せ先



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

財務・学術部 学術研究支援課 研究支援係

TEL: 0566-26-2417

E-mail: renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

